

# 神戸大学実験・実習技術研究会を聴講して

小塚基樹、齋藤清範

工学研究科・工学部技術部 装置開発技術系

## はじめに

平成24年3月14日～15日にかけて神戸大学六甲台キャンパスにて神戸大学実験・実習技術研究会が開催され、聴講参加したので報告する。（日程は表1参照）

表1. 日程表

### 【第1日目】平成24年3月14日（水）

時間	プログラム	会場
11:00 ～	受付	工学研究科教室棟1階
13:00 ～	開会式	出光佐三記念六甲台講堂
13:00 ～ 13:10	学長挨拶	出光佐三記念六甲台講堂
13:10 ～ 13:50	特別講演 「スーパーコンピュータとバーチャル・リアリティによる地磁気研究」 システム情報学研究科 陰山聡 教授	出光佐三記念六甲台講堂
13:50 ～ 14:10	次期開催案内	出光佐三記念六甲台講堂
14:10 ～ 14:15	諸連絡	出光佐三記念六甲台講堂
14:40 ～ 16:00	セッションI	工学研究科教室棟2階～5階
16:15 ～ 17:15	ポスターセッション	神戸大学百年記念館六甲ホール

### 【第2日目】平成24年3月15日（木）

時間	プログラム	会場
8:30 ～	受付	工学研究科教室棟1階
8:50 ～ 10:10	セッションII	工学研究科教室棟2階～5階
10:20 ～ 11:40	セッションIII	工学研究科教室棟2階～5階
12:40 ～ 14:00	セッションIV	工学研究科教室棟2階～5階
14:10 ～ 15:10	セッションV	工学研究科教室棟2階～5階

## 1. 講演について

### 1.1 開会式

神戸大学学長より開会の挨拶があった。

### 1.2 特別講演

特別講演として、システム情報学研究科陰山聡教授より、「スーパーコンピュータとバーチャル・リアリティによる地磁気研究」という題目で、講演を聴講した。地磁気の2大特性（双極子地場と逆転）と地磁気の発生原理である電磁流体ダイナモ理論についての話の後に、スーパーコンピュータ「京」による計算と、シミュレーションデータの立体可視化装置「 $\pi$ -CAVE（パイ・ケイブ）」

の紹介があった。スーパーコンピュータによる膨大な量の3次元データを、3次元のままデータ空間の中に入り込んで可視化する手法に大きく興味を惹かれた。

## 2. 発表について

本技術研究会は、情報・電気系分野、機械系分野、建築・土木・農学系分野、化学・医学・理学系分野、地域貢献技術分野、安全衛生技術分野の6分野に大別され発表が行われた。

小塚は、業務として現在担当している学生実験（機械加工実習）の参考とすべく、上記6分野の内、機械系分野と地域貢献技術分野を聴講した。また、齋藤は化学・医学・理学系分野と情報・電気系分野を聴講した。

### 1日目（セッションⅠ）

このセッションでは、学生実験の参考となる発表がなかったため、機械系分野で、業務に参考となる発表を聴講した。

### 1日目（ポスターセッション）

ここでは、各大学で行われている学生実験のテーマや進め方を始め、安全管理業務等いろいろと参考にすることが出来た。

### 2日目（セッションⅡ～Ⅴ）

2日目は、地域貢献技術分野を中心に他の分野も聴講した。各大学・高専においても、学生等に対する教育支援に力を入れているのが伺えた。また、カリキュラムの設定や環境整備などに一日の長が伺え、実施するには解決しなければならない点や環境を整えなくてはならない点など、多くの問題があることが再認識できた。



写真 1. 研究会会場前にて

## 3. おわりに

今回、実験・実習技術研究会に参加して、それぞれの大学・高専において、学習効果を高めるための実習や学生実験への技術職員の関わりが非常に高いことが分かった。教員との連携を深めて、より良い技術支援に努めて行きたいと思う。

最後に、本研究会に聴講参加の機会を与えていただいた、技術部ならびに装置開発の皆様に感謝し報告いたします。